

# あなたの夢は何ですか？



自分が本当にやりたいこと、欲しいもの、大切なことを  
明らかにして、幸せの第一歩を踏み出しましょう！

RYUZO

# 自分が何をやりたいのか、大切なことは何か、わからない人が多い？

あなたは、今の生活、自分の人生に十分に満足していますか？

人生に行き詰まりを感じているかたもおられるでしょう。

また大きな不満や悩みは無くても、何か物足りなさを感じているかたも多いかもしれません。

日本に住んでいれば、世界のほかの国より治安も良いし、24時間コンビニで買い物もできるし、電気や水道、通信などのインフラも整っています。

衣食住、つまり食べるものがある、着る服がある、安心して眠れる住まいがあれば、生きてはいけます。

ですから「あなたの夢は何ですか？」とか、「あなたの目標は何ですか？」と聞かれて、「う～ん、特に無いですねえ」と答えても別に恥ずかしくは無いです。

私たちが住んでいる社会では、衣食住やそれ以外のことも全部分業で成り立っているのです、生活に必要な糧を得られる仕事があれば、特に何も考えなくても生きていきます。

しかし、集団生活の中で、自分の考えが無いまま生きていくと、他人の人生を生きることになります。ゴールについて特に考えていなくても生きていけるので、自分から気づかない限り、他人の思考に振り回されるだけの人生になってしまいます。

自分の考えが無いとは、例えて言うなら、タクシーに乗って「どこかいいところに行ってください」と言うようなものです。

それで発車してくれる運転手さんはいないと思いますが、仮の話としてどこかへ行けたとしましょう。

でも到着地はおそらく、皆さんの考えているいいところではなくて、運転手さんの考えているいいところでは。

行き先はある程度決めて、途中でも方針はハッキリしていないと、結果的にほとんどの場合、他人の行きたいところに連れていかれます。

これまで多くの日本人は、儒教の影響で、親の言うことは何でも聞くように教えられたり、暗記中心の詰め込み式教育の影響によって、上から与えられた目標や道を忠実に進むのが良しとされるが多かったようです。

このため、自分の夢や目標を自分で考えることに慣れていない人も多く、欧米式の目標設定をしようと思ってもなかなかできない人が多いのも事実です。

つまり親や兄弟、学校の先生、会社の上司などが設定した目標を自分の目標として設定しまいがちになります。

そのように教育され、子供の頃から自分の道を選ぶことに慣れていないと、大人になっても自分で自分の本当に進みたい道を決めることができなくなります。

親や学校の先生もキャリア・プランナーも私たちにとってのベストな道を教えてくれることはありません。

**自分の道は自分で選ぶしかありません。**

しかし、親や周りの決めた道を捨てる決心をしたとして、それを実行に移すと、今度は何をやったらいいのかわからず、途方にくれる人も多いのではないのでしょうか。

# 道を見失っていた25歳までの人生

昭和の時代に2300g台という未熟児で生まれた私は、身体が弱く、とても繊細な子供でした。

小学校2年の時には両親が離婚し、母方に行くことになりましたが、内気な父親に似ていた私は、両親が離婚したという精神的なダメージから、ますます内気になりました。

その当時、母方の祖父母の家に同居していたのですが、大学教授をしていた祖父は優しかったものの、家庭裁判所の調停委員をしていた祖母は躰？に厳しく、勉強をちゃんとしなかったり、祖母の意向に沿わないことをすると、すぐに蔵に閉じ込められました。

蔵の中は明かりは裸電球のみで、暗くてカビ臭く、埃っぽく、またトイレも無い場所でしたが、厚み10cmぐらいの鉄格子の扉を閉めて鍵をかけられ、そこで2～3時間反省？させられました。孤独で辛い時間でした。

当時は身体が弱く、スポーツはダメだけど、音楽なら良いだろうと、その時住んでいた近所の音楽院で声楽を習

わせてもらっていました。習い始めたのは6歳ぐらいからです。

その院長先生が、たまたま日本とイタリアで活躍している物凄い先生だったということもあり、その先生に気に入られた私は、小学校6年ぐらいからテレビだけではなく、世界的な指揮者のオペラの子役にも出させていただきました。

しかし音楽院の女先生との感情的な気持ちのすれ違いから、音楽を続けていく気力が無くなり、18歳ぐらいで声楽の道を断念してしまいました。

また中学、高校時代は、スポーツのできない男はモテないという風潮にさらされ、ますます内にこもるようになってしまっていました。

大学は、自分では日本の古代史か心理学を学びたかったのですが、母親や周りから、それでは良い会社に就職できないと言われ、やむなくほとんど興味の無かった工学部の化学系の学部に進学しました。

大学時代は、自分のやりたかった分野ではなかったので、勉強に興味湧かず、軽音楽のバンド活動ばかりやってましたが、それはそれで楽しかったです。

しかし、さあ、これから就職活動しようかという時に喫茶店でコーヒーを飲んでいたら、突然身体が重くて動けなくなり、診察の結果、腎臓系の難病にかかっていることがわかりました。

それから約50日間入院しましたが、不思議なことに奇跡的に完治しました。就職活動はできなかったものの、母親が仕事でお世話になっていた財界の大物のかたに思い切って相談してみたところ、数社の会社を紹介してくださり、なんとかそのうちの一社に就職することができました。

とりあえず、就職もできて、これから少しは母親孝行でもしようかと思った矢先、今度はその時に唯一の肉親であった母親がガンに侵されていることがわかり、一年の闘病の末、亡くなってしまいました。

親も兄弟もおらず、特に親身になってくれる親戚もおらず、1人で社会に放り出された気分でした。その時、残っていたのは、私の学資のために母親が残した借金だけでした。

ただ、仕事があったことだけは唯一の救いでした。私はとにかくがむしゃらに仕事に集中しつつ、道を探し始めました。

## 探求の旅が始まる

私が25歳の時、母親は52歳で亡くなりました。母親は神仏の信仰がとてつ篤く、いそがしい保険外交の仕事の合間に各地の神社仏閣に熱心に通っていました。

そんな信仰心の篤い母親が、なぜ幸せとは思えない短い人生を送ったのか、**幸せな人とそうでない人の違いは何か？** 大きな疑問を持った私は、真剣に探求を開始しました。

高野山で真剣に祈ったある日の帰り道の本屋で**マーフィーの成功法則**と出会い、「良いことを思えば、良いことが起こる」という単純な真理を知りました。

当時の私にとって、ポジティブ思考はとてつ斬新でした。その後、さらに**ジョセフ・マーフィー博士**のことを知りたいと、1人でアメリカに出張した際、本屋へ。

するといろんなところに**マーフィーの法則**と書かれたバッジなども売っていて、凄いい人気だなぁと感心したのですが、それはマーフィー博士ではなく、自虐的なパロディーのほうのマーフィーの法則でした。（汗）



さらに1987年頃には、**ポール・J・マイヤーの成功法則**を知人から紹介され、ポール・J・マイヤーが開発した高価なプログラムを複数受けました。

マーフィーの法則のニューソート、ポジティブシンキングとポール・J・マイヤーの目標達成、成功法則と出会った私は、完全に世の中の真理を得た気分でした。

実際、それから1～2年のうちにその時に手に入れたかった全てを手に入れ、完全に満足して人生に勝利を得たつもりになっていました。

しかし、心の奥底では、本当にこれで良いのだろうか？何か足りないものが有るんじゃないか？という微かな疑問が浮き上がってきていました。

そんなある日、カルマの燃焼のような事態に陥り、大きな壁にぶつかり、また裸一貫、マイナスからのスタートを切ることになりました。

しかし、自分がやるべきことは、わかっていたので、唯一の肉親だった母と死別した時ほどの落ち込みはなく、むしろ清々しい気分でした。

その時から取り組んだのは、主に**潜在意識をクリアにすること**でした。

約3年がかりで、当時調べられる限りのあらゆる心理学的手法、思考法、宗教的技法、脳科学的手法、瞑想法、ヨーガ、気功法、その他の身体技法、など**約700種類**について調査しました。

当時はインターネットも普及していなかったのですが、図書館や本屋で調べるだけでなく、心理学系の大学の教授に直接コンタクトを取って、教えを受けたり、ヨーガや身体技法の専門家の先生と手紙をやり取りしたり、さらに体験者にもインタビューしたりしました。

その結果、**純粹意識を体験する瞑想**の重要性に気づき、1989年には**TM（超越瞑想）**を習得したり、**TA（交流分析）**などの心理学的手法も実践しました。

また母親とともによく通っていた神社やお寺の宮司さんや住職、管長さんには可愛がってもらいましたが、後七日法要の大導師を勤め、真言宗のトップと言える真言長者になられた**野澤密厳師**には特に一対一で多くのことを教えていただきました。

さらに神道界の重鎮の**中西旭先生**、古神道の第一人者の**小林美元先生**とも出会い、こちらも一対一での対話から貴重な知恵をいただきました。

そのほかにも合気道師範、心理学者、物理学者、コーチングやカウンセリングの専門家、大企業のトップ、世界的な音楽家など、偉大なメンターたちと出会い、直接的な対話から多くを学びました。

その後、42歳の時にはガンに罹ったりもしましたが、とても名医と出会い、大手術はしたものの早期に適切な治療をしていただいたおかげで治癒しました。

さらに仕事のストレスによるうつ状態、親友の死、人間関係の苦悩も経験しましたが、それら全てを乗り越え、健康で、家族や新しい家にも恵まれ、借金も無く、物質的にも精神的にも多くの満足を得ています。

30年以上にわたる知識と経験と探求に基づいて、2008年からは、東京、京都、大阪、静岡、愛知、徳島、福岡、長崎など全国各地ので幸せのコツや言霊、健康について講演を開始。

毎年、多くのかたに参加していただき、一般の会社員や主婦のかただけでなく、高校教師、医師、看護師、ファイナンシャル・プランナー、合気道師範、など教える側の立場のかたも多く参加してくださいました。

## 夢を実現するコース

それらのエッセンスの中から、夢を実現する方法について、RYUZOが20歳~40歳頃に欲しかったプログラムというコンセプトのもとに一番基本的な内容をオンライン講座としてまとめてみました。

今回、公開を記念して、RYUZOのブログを読んでもさったり、講演に参加して下さったかたに感謝を込めて、**期間限定の割引キャンペーン**をさせていただきます。

↓このリンクから**87%オフの1,610円**で  
ご購入していただけます。

## ライフデザイン講座

### 【夢を実現する4つのステップ】

割引キャンペーン期間は、**2021年2月5日まで**です。  
この機会にぜひオンライン講座を学んでみてください。

コースを受けていただくかただけではなく、RYUZOの話に興味があるというかたは、メールアドレスを登録していただくと、オンライン講座の元になったドキュメント（noteで販売中のものに大幅増補）**「本当にやりたいことの見つけ方」PDF 53ページ**を無料でダウンロードできるサイトをご案内いたします。

次のテキストをクリックしてください。

**[Find Your Goals !](#)**

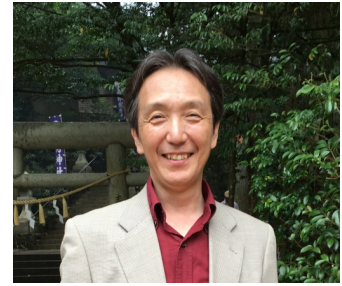


※ダウンロードサイトは、ご登録後に不定期にお送りするメール文中でご案内いたします。  
※メールアドレス登録とドキュメントのプレゼントは、オンライン講座のボーナストラックでもご案内しています。

みなさんの人生が、より豊かで充実したものになりますように！！

## RYUZOのプロフィール

私立大学工学部卒、印刷会社で35年以上にわたり、企画開発、マーケティング、教育に従事。うち10年近くはSEとしても活動。



企画開発プロジェクトで大規模なものは、約2年で売上が200億円以上を達成。印刷会社退職後はIT企業の技術顧問に就任。

本業の仕事と並行して2008年よりライフデザインや幸せのコツについて全国10箇所以上で講座を行い、毎年数百人が参加。

2012年に出版した電子書籍2冊（現在はAmazon Kindleに移行）は、いずれも41,000件以上の閲覧実績があり、2冊目はノウハウ部門で人気第14位。

音楽に関しては6歳よりグランマエストロに声楽の指導を受け、少年時代は舞台やテレビにも出演。1970年代からシンセサイザーの演奏も行う。

また1980年代から瞑想を習慣とし、心理学をはじめ、神道や仏教、ヴェーダに関する知識と経験も併せ持つ。

2021.1

Cover Photo by Jude Beck